

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|---|---------|----|--|
| 167 | B-07000063 | 男性 | 13歳 | 150 mg | | 異常行動 | 不明 | ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。 2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。 異常行動があったため、当院にて診療。 治癒後も目が覚めると歩きまわる様になった。 |
| 168 | B-07000066 | 男性 | 13歳 | 75 mg | クラリスロマイシン برانلカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン | 精神症状 | 回復 | インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38～39℃台の発熱が続いていた。 夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発語あり、窓から外へ出ようとするため、母親が馬乗りになっておさえた。5～10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思いつくには連絡しなかった。本剤服用中止。 |
| 169 | B-07000077 | 男性 | 13歳 | 150 mg | フェンジゾ酸クロベラスチン 塩酸アンブロキシール イブプロフェン | 異常行動 | 回復 | B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用後、突然起きて外出する。家族が気づいて追いかけて連れ戻す。 受け答えははっきりせず、自分のした行動も理解していなかった。連れ戻した後、すぐに就寝。本剤服用中止。その後異常行動はなく、意識もすぐ正常に戻った。 |
| 170 | B-07000130 | 男性 | 13歳 | 150 mg | ロキソプロフェンナトリウム ヒベンズ酸チペピジン 塩酸セチリジン | 異常行動 | 回復 | 体温:39.3℃。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 覚醒後「暑い」と言い「ベランダに行き、涼みたい」とベランダに向かって飛びだしそうになり家族が制止。10分後に異常行動回復。夜、臥床中、「ゲームの中のよう誰かが追いかけてくるので逃げなくては」と言ってふとんをかぶるといった幻視の疑いが発現。10分後に幻視回復。以降、本剤を続けて服用したが、特に異常行動は見られなかった。 |
| 171 | B-07000272 | 男性 | 13歳 | 60 mg | 塩酸エブラジノン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン | 異常行動 | 回復 | インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。 |
| 172 | B-07000412 | 男性 | 13歳 | 138mg | 塩酸チアラミド | 落ち着きのなさ | 回復 | インフルエンザB型の治療のため、リン酸オセルタミビル処方。 服用2日目、午前中に2階から転落。頭蓋内血腫と診断。入院治療し、約1週間で退院。異常行動回復。 (平成18年7月の事例) |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|------------------|----------------|---|
| 173 | B-07001355 | 男性 | 13歳 | 150 mg | プラノプロフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン ドンペリドン フマル酸クレマスチン | 幻覚 異常行動 譫妄 | 回復 回復 回復 | 数日前から咽頭痛あり、朝から38.3℃の発熱を訴え受診。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤2回服用4時間後に就寝。翌日未明、両親の寝室にばたばたと入ってきて、「死ぬとこだった」とおびえた表情をしたので、両親は寝かせつけた。その朝、患児を観察すると、擦り傷、両下肢の付着物、両足底の汚れあり。事情をきくと、何かに追いかけられるような怖い夢を見ていたような恐ろしい思いをした後、自分が窓枠にぶら下がり、両足をコンクリート壁の突き出し部分に乗せているのに気づき、よじ登って部屋に入ったとのこと。部屋を確認すると、窓が開いている、足跡がついている等の形跡あり。 |
| 174 | B-07001668 | 男性 | 13歳 | 150 mg | アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン | 幻覚 異常行動 | 回復 回復 | 発熱39.1℃。検査にてインフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日昼、夜と本剤2回服用。 翌日未明、就寝していた患者が急に起きあがり、部屋をかけ回る、たんすを開ける、友達がいると言い、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさえる。数分で落ち着いた。39.9℃と高熱。同日朝、意識清明であるが、異常行動時の記憶はなし。本剤服用中止。その後、異常なし。 |
| 175 | B-07002055 | 男性 | 13歳 | 不明 | | 異常行動 | 回復 | シーズン前にインフルエンザ予防接種2回施行。 気分が悪いと訴えあり。体温38.4℃。インフルエンザ検査陰性であったが、インフルエンザの可能性高いからと、リン酸オセルタミビル処方。服用3~4時間後の早朝、「友達がベランダから落ちた」と発言。問いかけに答えられず。そのまま睡眠した。同日夕方、ウーと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と発言。本剤中止。暫くして意識清明となる。 翌日未明、気分が悪いと訴え、リビングを駆けずり回り、「死にたい」と連呼。救急車要請。救急隊到着時、ぼーっとしている感じではあったが、名前は言えた。入院後、補液。その間異常行動なし。意識清明。顔には自分でひっかいた、ひっかき傷目立つ。唇もかんでいるようで、出血あり。本剤内服せず様子見とした。翌日、解熱し、異常行動もみられず退院。 2週間の間隔をあけて測定したが、インフルエンザに対する抗体価の上昇なし。 |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|---------|----|---|
| 176 | B-07002997 | 女性 | 13歳 | 150mg | ドンペリドン 酪酸菌製剤 d-マレイン酸クロルフェニラ ミン | 大発作痙攣 | 回復 | 3年前、A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビルの服用歴あり。副作用なし。 38.5℃。B型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後、本剤服用。この時体温40℃。昼、異常なし。夜、2階から1階に下りようとして「こわい、こわい」とさけび出し、両手を広げバンバン壁をたたき、その後、けいれんを1分間起こした。5分後、会話ができるようになったが、「こわい、こわい」と言っていた。けいれん時:35.5℃と解熱。本剤、夜は睡眠中であったため、服用せず。投与開始2日目、朝、本剤服用中止するも、夜は服用。投与開始3日目、朝、夕本剤服用。 |
| 177 | B-07004039 | 男性 | 13歳 | 150 mg | フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン | 譫妄 | 回復 | B型インフルエンザ発症し、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、朝、2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(屋内)の途中から飛び降り、部屋の障子を倒して外へ出て行こうとした。家族が制止し、30分後、我にかえた。39℃台の発熱あり。患者によると、悪い夢を見て、何かに追いかけていたような気がしたそうであるが、階段を飛び降りたり障子を倒したりしたこと等は何も覚えていなかった。 |
| 178 | B-07013251 | 不明 | 13歳 | 不明 | | 異常行動 | 回復 | インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用の4時間半後、裸になって外に飛び出す。本剤中止。服用2日目、異常行動は回復。 |
| 179 | B-07013256 | 男性 | 13歳 | 42mg | アセトアミノフェン アモキシシリン ツロブテロール | 幻覚 | 回復 | A型インフルエンザ(体温は39℃)に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後に、幻覚(異常行動)が発現。服用2日目、幻覚(異常行動)は回復。 |
| 180 | B-05002487 | 男性 | 14歳 | 75mg | | 意識変容状態 | 死亡 | 発熱、咽頭痛、関節痛にて受診。A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤服用2時間後、9階自宅より転落。出血性ショックにより死亡。主治医によると転落したときの状況は誰も見ていないため意識障害、精神障害があったかは不明。 |
| 181 | B-05017753 | 女性 | 14歳 | 150mg | クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム ム・炭酸水素ナトリウム 塩化デカリニウム | 譫妄(せん妄) | 回復 | 咳、咽頭痛、関節痛、発熱あり解熱剤使用しても改善されず受診。インフルエンザ予防目的にて本剤投与。本剤投与2日後、朝より被害妄想、異常行動、せん妄発現。落ち着きがなく、家中うろろしていた。本剤投与中止3日後、精神的に落ち着き、平常の状態に戻る。 |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|-------|--|----------------------|-------------------|---|
| 182 | B-05022381 | 男性 | 14歳 | 75mg | ドンペリドン シプロフェリン・ジヒドロコデイン配合剤 アルジオキサ 塩酸エピナスチン レボフロキサシン 維持液(3) メクロプラミド | 錯乱状態 落ち着きのなさ | 回復 | 発熱(38℃)、咳、鼻症状にて本剤処方。服用後、錯乱、不穏発現(異常な発言とともに、窓に向かって走り出す(マンションの9階))。ガラスは、鍵をかけており事故にはならなかったが、両親でおさえなければならぬほどの力で暴れた。服用中止し、錯乱、不穏回復。 |
| 183 | B-05024748 | 男性 | 14歳 | 75mg | アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | A型インフルエンザで発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを夕方に服用した。服用開始した日の夜に2階より飛び降りる異常行動が発現。飛び降りから約2時間半後に病院へ搬送された時には異常行動は回復していた。右踵骨骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損。飛び降りから約4時間後に頭部CTを実施し、明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めなかった。 |
| 184 | B-05024963 | 男性 | 14歳 | 75mg | アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン | 意識変容状態 異常行動 悪心 | 回復 回復 | A型インフルエンザ発症のため夕方リン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。服用後意識障害(少し変なことを言う)発現するもすぐに治まった。嘔気もあり。翌朝本剤服用後、約4時間後に異常行動(服を脱いで家の外へ飛び出す)発現し行動障害(いつもできることができない等)が少し続いた。患者が落ち着いた後、総合病院を受診し血液検査と脳MRI撮影実施。3日後、落ち着いており、12日後、検査結果に異常なし、精神神経症状もなし。 |
| 185 | B-05025213 | 女性 | 14歳 | 150mg | クラリスロマイシン 塩酸チアラミド 非ピリン系感冒剤 リン酸ペンプロペリン アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | 発熱が見られた3日後よりA型インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始(39.5℃)。初回服用1.5時間後にトイレでいきんだ後30秒ほど白目をむいた感じになった。2回目服用2.5時間後に異常行動(突然起きあがり意味不明な発言)発現のため救急受診。受診時の受け答えは正常。翌日インフルエンザ軽快し精神状態等も正常。 |
| 186 | B-05025476 | 男性 | 14歳 | 150mg | | 痙攣 意識変容状態 異常行動 | 未回復 未回復 未回復 | インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたため本剤投与開始。異常行動、意識障害、痙攣発現。(担当医の協力が得られず詳細は不明) |
| 187 | B-05025583 | 男性 | 14歳 | 150mg | アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン シャゼンソウエキス | 異常行動 | 軽快 | A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(38.5℃)。午前中1回目服用後寝ていたが突然異常行動(階段を駆け下り、学校へ行くといいかばんを背負って外へ飛び出そうとする)発現し、しばらくの後症状軽快。その後も本剤を処方通り服用するが異常行動発現せず。 |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|-------|--|--------------------------|----------------------|---|
| 188 | B-05025723 | 男性 | 14歳 | 150mg | | 健忘 激越 異常行動 錯乱状態 | 回復 回復 回復 回復 | A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。夜間本剤服用後、家の中を大声で動き回り、家族が抱きかかえた。興奮、錯乱状態発現。2時間毎に興奮状態が出現。その後寝入って落ち着き興奮、錯乱状態、健忘症回復。翌日解熱し本剤中止。(約1ヶ月前インフルエンザが強く疑われたためアマンタジン投与。その際は高熱(39.1℃)だったが、興奮状態等の訴えはなかった。) |
| 189 | B-06024434 | 女性 | 14歳 | 75 mg | イブプロフェン 非ピリン系感冒剤(4) アズレンスルホン酸ナトリウム・ L-レグルタミン | 転倒 | 死亡 | 発熱(38.2℃)、咳、鼻水、喉の痛みあり、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを服用。服用から2時間後自宅マンションから転落し、心肺停止状態。病院に搬送後に死亡確認。 |
| 190 | B-06024795 | 男性 | 14歳 | 150mg | アセトアミノフェン | 異常行動 転倒 | 死亡 死亡 | インフルエンザA型にて本剤を服用するが、異常行動発現なし。約1年後、発熱(38.9℃)、咽頭痛、インフルエンザB型陽性で本剤を処方。朝、夕服用し、その夜に自宅マンションから飛び降り死亡。 |
| 191 | B-06025006 | 男性 | 14歳 | 75 mg | フェンジソ酸クロペラスチン カルボシステイン | 異常行動 | 回復 | 発熱(39.6℃)あり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用3時間半後、異常行動(走り回ったり、階段の手すりに足をかけたりする等)が10分程出現。異常行動回復。 |
| 192 | B-06025685 | 男性 | 14歳 | 75mg | | 異常行動 | 回復 | 発熱(38.5℃)鼻症状であったため、確定診断後本剤を投与。その夜、異常行動(トイレに行こうと立ち上がったが倒れた。トイレに付き添っていくもトイレの中、壁に向かって排尿し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れ込む)発現。母親、心配になり、救急依頼。体温(38.2℃)。入院後、補液管理となり(体温:38.8℃)、その日の夕刻、異常行動回復。 |
| 193 | B-06026126 | 男性 | 14歳 | 75mg | | 異常行動 意識消失 | 回復 回復 | インフルエンザB型と診断。投与開始3日目未明、突然起床。玄関ドアの前で意識消失し転倒。意識消失は2~3分間。その間けいれんは認めない。後頭部打撲。翌日、異常行動、意識消失回復。再受診時には、患者のその間の記憶はない。 |
| 194 | B-06026444 | 男性 | 14歳 | 75mg | プロピオン酸フルチカゾン モンテルカストナトリウム マレイン酸フルボキサミン プロマゼパム マレイン酸レボメプロマジン カルバマゼピン | 異常行動 | 回復 | リン酸オセルタミビル75mg内服2時間後「落ちつかない」「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気づき、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。3時間程落ちつかなかったが、ようやく就寝できた。 |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|---|--------------|----------|--|
| 195 | B-07000153 | 男性 | 14歳 | 150 mg | エバステン プラノプロフェン 塩酸アンブロキシロール | 異常行動 意識消失 | 回復 回復 | インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル服用を開始。2回目の服用後、同日、意識障害発現。翌朝、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベッドで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排尿をしている間に意識消失。2~3分程度継続。救急車により搬送される。到着時には、意識は回復。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのでうめき声を発したが窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。 |
| 196 | B-07000156 | 女性 | 14歳 | 75 mg | | 異常行動 | 回復 | インフルエンザを発症し、リン酸オセルタミビルを1回のみ服用。投与後2日目夜、異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。 |
| 197 | B-07000162 | 女性 | 14歳 | 150 mg | | 異常行動 | 回復 | A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。夜、本剤内服後、就寝。夜中に突然起き上がり、声を出しながら(内容は不明)2階の窓より階下へ飛び降りた。直後に両親が庭で患児が腰を打撲して、座っている状態を確認。ボーッとしている状態であったが、話しかけには返事をしていただけ。翌日には意識は全く清明であった。 |
| 198 | B-07000206 | 男性 | 14歳 | 75 mg | L-塩酸メチルシステイン カルボシステイン セフテラムピボキシル トラネキサム酸 プラノプロフェン トロキシビド ブドウ糖 硫酸イセパマイシン トラネキサム酸 | 異常行動 | 回復 | インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆさぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2~3分で落ち着いた。本剤服用中止。翌日、未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせるが、その後回復。 |
| 199 | B-07000215 | 男性 | 14歳 | 75mf | セフボドキシムプロキセチル 塩酸アゼラステン 塩化リゾチーム | 異常行動 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、かなり激しく動き回り、その後就寝。その2時間後突然覚醒し、二階へかけ上がる等の異常行動発現。 |
| 200 | B-07000218 | 男性 | 14歳 | 75mg | アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ズボンを脱いで階段を昇り降りしながら、異常言動発現。当日、夕方入院するが、症状なく、入院3日後に退院。 |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|---|----------------|----------|--|
| 201 | B-07000261 | 男性 | 14歳 | 150mg | アセトアミノフェン | 幻聴 | 不明 | 咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。38℃台の発熱がありボーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、受診し、インフルエンザA型陽性と出たため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、母親が外から呼んでいるというような幻聴があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。 |
| 202 | B-07000283 | 男性 | 14歳 | 75 mg | | 譫妄 意識レベルの低下 | 回復 回復 | 発熱39℃。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3時間後、せん妄、もうろう状態発現。トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。床の中で不穏動作(手をバタバタさせたり起き上がろうとしたり、物に話すような動作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかったとのこと。症状回復。本剤投与中止。翌朝、体温35.8℃に低下し、回復。 |
| 203 | B-07000284 | 男性 | 14歳 | 150 mg | ヒペンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン | 幻覚 | 回復 | インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動、幻覚発現。何か幻覚のようなものを見て、外に出ようとした。母親が止めようとしたが、止められず、父親が平手打ちをしたところ正気に戻った。翌日、熱も下がり、症状は回復。本剤は継続中。 |
| 204 | B-07000306 | 男性 | 14歳 | 75 mg | | 異常行動 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後も高熱(41度)が持続。服用10時間後、2階から階段を勢いよく下りてきて、玄関から飛び出し、田んぼの中を走り回り、国道に倒れていたのを通りがかりの車輦に発見される。その後、本剤服用中止。アセトアミノフェン服用し、解熱。異常行動回復。 |
| 205 | B-07002193 | 女性 | 14歳 | 75 mg | アセトアミノフェン 塩化リゾチーム カルボシステイン トラネキサム酸 | 異常行動 | 回復 | インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用2時間半後、壁に頭を打ちつけるのを家族が発見。本人は分かっていたが、頭を打ち続けることを止めることができず怖かったとのこと。1回内服のみで中止し、その後、異常行動を認めていない。 |
| 206 | B-07005083 | 男性 | 14歳 | 75 mg | ロキソプロフェンナトリウム テブレノン 塩酸アンブロキソール アセトアミノフェン | 異常行動 | 軽快 | 急性上気道炎、咽頭炎。37.8℃の熱発あるが、インフルエンザ陰性。1週間後、39.8℃の熱発。リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェン坐剤処方。約1時間半後、自宅にて睡眠時にうわごとあり。後、突如起き上がり、部屋を出ていこうとしたところ、家族が制止。落ち着いたが、急に何かにおびえだす。服用開始から2日目、症状は落ち着いていた様子。以後、副作用もなく転帰良好。 |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|---|-------------------|----------|---|
| 207 | B-07013254 | 男性 | 14歳 | 150 mg | 塩酸テアラミド テブレノン d-マレイン酸クロルフェニラ ミン リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン ホスホマイシンナトリウム | 激越 幻覚 | 回復 回復 | リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、2階で寝ていたが、駆け降りてきて興奮気味に「何か変なものがある」と訴えた。母親とすぐに2階へのぼったが、しばらくして再び眠った。30分後、興奮・幻覚は回復。 |
| 208 | B-07013399 | 男性 | 14歳 | 不明 | | 異常行動 | 不明 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、ベッドの周りを走り回った。 |
| 209 | B-03010203 | 男性 | 15歳 | 150mg | | 妄想 | 未回復 | インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。同日夜、内服。翌日昼、解熱したが、異常な発言あり。その翌日、本剤の投与中止。その後言動のまとまりがなくなり、統合失調症の発症が疑われた。本剤投与中止12日目に、幻覚妄想が活発に認められ、入院。病院内を落ちつきなく徘徊。幻覚妄想は未回復。 |
| 210 | B-05001829 | 男性 | 15歳 | 75mg | アセトアミノフェン 鎮咳配合剤 カルボシステイン | 譫妄(せん妄) 痙攣(痙攣) | 後遺症 | 高熱あり、救急外来受診。A型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。その後、せん妄・痙攣発現。病院に救急搬送され、入院となる。その後急にベッドから立ち上がり、点滴ラインを引っ張った。翌日早朝、意識清明となり覚醒し、頭痛や麻痺・硬直等の症状緩和。翌日、解熱、異常行動なく全身状態改善のため退院となるが、後遺症あり。 |
| 211 | B-06024227 | 男性 | 15歳 | 150mg | レバミピド 塩酸セチリジン アセトアミノフェン 塩酸ホミノベン | 嗜眠 異常行動 | 回復 | A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mgx2回/日を投与。4日目にインフルエンザ軽快・回復。6日目の10回目投与後、学校で授業中突然歌を歌う。視線が定まらず早退。帰宅後も嗜眠傾向。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は興奮のため最後まで撮れないが、撮れた分は異常なし。15日目では異常行動、嗜眠傾向は未回復。21日目以降の時点で父母から見ても正常に戻ったと評価している。 |
| 212 | B-06024378 | 男性 | 15歳 | 150mg | 非ピリン系感冒剤(4) テリスロマイシン 塩酸アンブロキシール ヒベンズ酸チペピジン テブレノン | 異常行動 自殺企図 | 軽快 軽快 | インフルエンザと診断。体温39°C。リン酸オセルタミビル2回目服用後、3時間後に悪夢を見て暴れた。その6時間後、再度暴れ、包丁の刃を自分に向けていた。2時間後、自殺未遂及び異常行動は軽快。 |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|---|------------|----------|---|
| 213 | B-06026296 | 女性 | 15歳 | 150mg | 塩酸セフカペンピボキシル ピロミド酸 | 発疹 | 不明 | インフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。翌日夜になり徘徊・手の震えが15分続き、その後眠った。その翌日起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。 |
| 214 | B-07000065 | 女性 | 15歳 | 150 mg | 臭化水素酸デキストロメトル ファン カルボシステイン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | 発熱38℃、咳あり。インフルエンザB型治療のため、夕食後にリン酸セルタミビル75mg服用。 深夜、眠っていたが、突然起き上がって、部屋中を走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現。 異常行動回復。本剤服用中止。 |
| 215 | B-07000078 | 男性 | 15歳 | 75 mg | フマル酸エメダステン カルボシステイン 塩酸エブラジノン | 異常行動 幻覚 | 回復 回復 | リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、幻覚発現。トイレに行くといって玄関の方へ歩いていくが家族によって制止され、その後眠った。 翌朝、服用後、トイレで母親が死んだというようなことを大声で叫び、頭をうち倒れたとこのこと。 翌々日、熱が引かないためセフトリアキソンナトリウム処方。全身状態は悪くないとのこと。 |
| 216 | B-07000108 | 女性 | 15歳 | 75 mg | 非ピリン系感冒剤(4) | 異常行動 | 回復 | インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用6時間後(1:30頃)、2階から突然飛び降りた。飛び降りた瞬間に意識が戻った。 本人の申告では、ガラス窓と雨戸をあけて、戸外にとびおりたその瞬間に気づいたとのこと。 服用8時間後(3:30頃)、家族が外に転落しているのを発見。翌朝、救急で搬送。CT、レントゲン異常みられず帰宅。 |
| 217 | B-07000259 | 男性 | 15歳 | 75 mg | | 異常行動 | 回復 | B型インフルエンザと診断。夜、リン酸オセルタミビル服用後、就寝。翌朝、朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの柵を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。 その後、意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い。 |
| 218 | B-07001356 | 男性 | 15歳 | 75 mg | アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3日目、服用後に患者が異常に本剤を欲しがり、母親の首を絞めるなどの異常行動あり。翌日、異常行動回復。 |

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|--------------------|----------------|--|
| 219 | B-07001670 | 女性 | 15歳 | 75 mg | アセトアミノフェン | 大発作痙攣 | 回復 | 39.2°Cの発熱を主訴に初診。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、風呂場に行き、浴槽で頭を打ちつける異常行動を発現。出血(少量)あり。失禁あり。意識清明まで5、6分。その後、強直発作10秒認める。発熱は一度37°C台に戻るが、再び38°C台に上昇。その後、就寝。深夜、トイレに行ったときに脱力し、意識消失。約1分後に回復したが、その後10分程度ボーっとした状態であった。その後、通常に戻り就寝。徐々に平熱となった。 |
| 220 | B-05021030 | 男性 | 16歳 | 75mg | 非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ アセトアミノフェン イブプロフェン | 激越 | 回復 | インフルエンザA診断後リン酸オセルタミビル投与開始。翌日興奮状態で自宅を飛び出していき、しばらくして帰宅(本人は覚えている。)。その後解熱、興奮(異常行動)回復。 |
| 221 | B-06025041 | 男性 | 16歳 | 150mg | | 異常行動 傾眠 失見当識 | 軽快 軽快 軽快 | インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。投与開始3日後、平熱。異常行動(いきなり立ち上がり、ボーとしているなど)、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)発現。経過観察の為、入院。投与終了4日後、症状改善し、退院。退院4日後まで、見当識障害あり。翌日、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)軽快。 |
| 222 | B-06025191 | 男性 | 16歳 | 150 mg | | 譫妄 | 回復 | 過去に本剤内服あるが、その時副作用なし。高熱(39°C)が出たため、姉に処方されていた本剤を服用し、受診。その後、せん妄状態発現(約30分間持続)。あばれだすようになったが、自室に入った。せん妄状態で発熱(39°C)が続いており、落ち着いた頃に本剤を追加服用。庭に倒れていたところを家族が発見、中2階から転落した様子だが、本人記憶なし。せん妄状態回復。翌日、来院、高熱(38.9°C)継続。 |
| 223 | B-06025425 | 男性 | 16歳 | 75mg | クラリスロマイシン 塩化リゾチーム 塩酸アンブロキシソール アセトアミノフェン | 意識変容状態 | 回復 | 発熱(37.2°C)、頭痛、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感があり、確定診断後、夕方本剤を服用。夜間帯、ボーっとした感じでベランダに出て行き失踪。本人が素足のまま帰宅する。本人は、この間の記憶が全くない。 |